

(別紙)

平成 25 年度地域と連携した子どもの体力向上支援事業 ふりかえりシート

団体名(津和野町スポーツ推進委員の会)

【 児 童 ・ 未就学児 】

1. 事業名

- ① ゆうゆうクラブ「グラウンドゴルフ」
- ② 小川地区体育連盟「体育館開放事業」
- ③ つわぶきワクワク広場「放課後子ども教室」

2. 主な活動

- ① ゆうゆうクラブ「グラウンドゴルフ」
今年度発足した津和野町日原地域の子どもに多くの体験活動を経験させたいという大人の団体。放課後児童クラブや公民館活動に出向き、活動している。その中で、スポーツ推進委員も活動に参加し、プログラムの一役を担っており、今年はグラウンドゴルフを実施した。日程が津和野町を襲った豪雨災害の翌々日ということもあり、参加者は少なかったが、参加した子どもたち、又ゆうゆうクラブのメンバー（スポーツ推進委員）は満足した様子だった。
- ② 小川地区体育連盟「体育館開放事業」
この事業は、早く暗くなる、そして天候も良くない冬場（1月から3月）の子どもたちの運動できる場を確保するため、総合型スポーツクラブであり小川地区体育連盟が主催で行っているもので、毎年スポーツ推進委員に協力依頼を行い、実施している。基本的には職員会議が行われる月曜日の15時00分から17時までの間で、集まった子どもたちでやりたいことを決め、居合わせているスポーツ推進委員と一緒に遊ぶという形で行っている。
- ③ つわぶきワクワク広場「放課後子ども教室」
津和野小学校内に設置している放課後子ども教室にスポーツ推進委員がスタッフとして参加し、活動を行っている。放課後子ども教室であるので、主には子どもたちの生活体験不足等を補うためのものであるが、事業をきっかけに体力向上プログラムも取り入れて行っている。基本的には月曜日と木曜日の放課後が活動日で、津和野小学校内にある放課後児童クラブ「つわのっこクラブ」と連携をとりながら、国が進める「放課後子どもプラン」として、双方に行き来できるようにしている。

3. 成果

やはり昔に比べ児童たちの体力低下は否めない。しかしながら、それは子どもたちだけが悪いのではなく、その体験をさせていない大人の責任であるように思う。運動の基本である「跳ぶ」、「投げる」、「走る」の3つが不得意（やりかたを知らない）な子どもたちが多く、それをいかに遊びの中で取り入れるかが重要であると考え。この事業を活用させて頂いていることで、少しでも楽しみながら体力向上を図り、ひいては運動のできる大人になるための準備ができればいいと思う。

国が作成したアクティブチャイルドプログラムを推進することも重要であると思う。

4. 次年度以降の展望

(今年度の取組の成果や課題を受けて、将来のビジョン、展開の方法など)

子どもたちへは、とにかく繰り返し繰り返し重要であると思う。このような事業を展開して頂いた事で、子どもたちの体力向上について考えるいいきっかけになったのではないかと思う。継続していきたい。

5. 県への要望(この1年間で感じたことをこの機会に何でも！)

【活動写真】



ゆうゆうクラブ
「グラウンドゴルフ」



つわぶきワクワク広場
「ボールを使って遊ぼう」



つわぶきワクワク広場
「子取り鬼」



つわぶきワクワク広場
「町たんけん」



小川地区体育連盟
「体育館開放事業：線おに」